

進む国際化、語学必要に

岐阜信用金庫と岐阜聖徳大で講義
岐阜信用保証協会



海外ビジネスや創業の現状などを紹介した出張講義＝岐阜市中鷺、岐阜聖徳学園大

岐阜信用金庫と県信用保証協会は、岐阜聖徳学園大との産学連携協定に基づく出張講義を岐阜市中鷺の同大で行った。同大経済情報学部2年生約130人が海外ビジネスや創業の現状などを学んだ。

同大で合同で行う講義は3回目。同金庫市場国際部海外ビジネスサポートデスク代理の馬場厚次氏、同協会保証業務部保証課上席審査役の宮田昭彦氏が講

義は3回目。同金庫市場国際部海外ビジネスサポートデスク代理の馬場厚次氏、同協会保証業務部保証課上席審査役の宮田昭彦氏が講

師を務めた。馬場氏は、国内市場が縮小する中、販路拡大などのため海外でビジネス展開する企業が増加している現状などを紹介し、「外国人と同一職場で働く機会が増える。労働環境の変化に対応するため、語学の習得に挑戦しよう」と述べた。宮田氏は、中小企業を取り巻く経営環境や創業支援の取り組みなどを説明した。